

# 研修報告書

提出日 2020年 2月 4日 (火)

氏名:

講師名	柳原 洋一
日時・場所	2020.2月1日(土) 15時～17時
<p>【研修題目】: 乳幼児の発達について・発達障害について</p> <p>【研修内容・学んだ事・感想】 (能力)</p> <p>(<u>新生児</u>) 人の表情をよみ、模倣する知能がある。鏡の神経…自閉症低い</p> <p>(<u>乳幼児</u>) 人の顔を追う=見る。乳幼児は環境と鋭敏に反応しながら発達する。 共同注意(三項関係) 一緒に見る、視線の先のものを見る。</p> <p>《言葉の発達のメカニズム》 たくさん言葉を聞きながら育つ。 ・豊かな言語環境(1時間に700～800単語聞いている) ・産後うつのお母さんと育つと言葉は少ない。幼稚園・保育園入ると言葉増える。 (<u>子ども</u>) 言葉を浴びているほうがいい。使わなきゃいけない環境 お母さんの悲しい、痛い分らない(心の理論)</p> <p>・文法～自然に身につく。3歳までは単純な言葉で、「いけない」など。 ・マザリースピーチ→ ゆっくり、よりよく話して…(同波数…声高く)</p> <p>《臨界期と愛着関係》 (<u>愛着</u>) 小さい時に育まれる(育まれる) (<u>臨界期</u>) 言葉獲得の時期 母に限らず「お母さん」といって安心する。(1歳以降は言語獲得困難) その対象者が「お母さん」// 数名の特定の保育者 3歳までが発達の臨界期。ゆたかな環境で育てる// 愛着関係結ぶ人</p> <p>《良い保育の質は…》 ・質の高いケアを受けた子は15歳になつてから問題行動がなかった。 ・保育者(お母さん)の感情性 → 子どもの出ているサインにどわたり反応しているか? ・肯定的な子育て。禁止はダメ!!</p> <p>《自己肯定感とはどのように育つか?》 ☆日本の子ども自己肯定感低い 自己効力感(小さい子が何か出来た) ⇒ やる気になる。 高めるは要因 → 他人からの承認。ほめられる。</p> <p>(<u>幼児期</u>) まわりからの目が分かってくる。学校 → 点数つけられる。言われなくても 自分自身に評価つけよう。</p>	

